

## 第7波

新型コロナウィルス第

これまでの在宅医療で

がら、

在宅酸素療法や抗

7波が、今夏、猛威を振 をすれば良いか分かって ていることも深刻です。

きたので、防護服を着な

つい先日は、急性心筋梗

信じてやみません。 は時が解決してくれると

塞になった患者が119

て我々もどのような対処

た、医療現場がひっ迫し も多いのが現状です。ま

尽くす。そうすれば、後 出来る限りのことをやり

とはいえ、以前と比べ

す。 らないので自宅での治療 がかかり、入院先も決ま を余儀なくされていま 齢者が目立ち、栄養補給 たが、今回は多くの患者 に罹患していませんでし 食欲低下をされている高 ようになってきました。 イド治療などを行なえる すべきことは医師として のための点滴をすること 問題は、回復後です。 の患者には主治医として が関わっている在宅医療 に医療が偏迫しても、私 だ、ということです。仮 の責務を全うすること

は滅多にコロナウイルス ウィルス薬投与、ステロ 松原 清二医師 在宅療養支援診療所「まつば らホームクリニック」院長 総合内科専門医・循環器内科医 日本循環器学会専門医

- ・日本内科学会認定医
- ・認知症専門医 認知症サポート医

隊が15世先から来た、と 主治医として患者に果た 分に言い聞かせるのは、 いうことがありました。 こんな苦しい状況で自

番を50回コールしてやっ と繋がったものの、救急

[まつばらホームクリニック] ☎ 042-439-1250 西東京市東町 4-14-18-2F

■定休日 : 土日 (祝日は診療)
■訪問地域: 西東京市、東久留米・ロ新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック